生徒に見られるつまずき

　標本調査を行い、母集団の性質を推測すること

つまずき解消に向けた指導のポイント

　身近にある題材について、標本調査を行い、母集団の性質を推測する活動を通して、標本調査に意味やよさに気付かせる

指導事例集ｐ．６１

１　学年・単元名　　第３学年　標本調査（資料の活用領域）

２　単元目標

・標本調査の必要性と意味を理解する。

・簡単な場合について標本調査を行い、母集団の傾向をとらえて説明できるようにする。

３　単元の内容

・全数調査と標本調査

・標本の抽出

・母集団と標本

**・標本調査の活用**

４　本時の目標

身近なデータの母集団で標本調査を行い、その必要性と意味を理解する。

５　本時の展開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 生徒の活動 | 指導上の留意点**太字：つまずきに対する手立て** |
| 導入展開まとめ | １　平日の勉強時間のアンケート結果からO中学校の平均勉強時間を調べるにはどうすれば良いか考える。ワークシート①‐１使用勉強時間データ使用２　標本調査をする上で、調査方法を各班で話し合う。ワークシート①‐２使用３　パソコンのソフトを使い、データを10個無作為に抽出し、平均時間を計算する。ワークシート①‐３使用４　全数調査の数値と、標本調査の数値を比べる。ワークシート①‐４使用５　授業の振り返りをする。 | ・全てを調べなくても母集団の性質は推測できることに気付かせる。・全数調査では困難なため、標本調査を使うのが効果的だと気付かせる。**・調査方法の意見を出し合い、各班でホワイトボードにまとめさせ、母集団から偏りなく標本を抽出する方法を見いだせるようにする。**・各班にデータを与えて計算させ、その数値を確認させる。**・実際のデータ結果を知り、標本調査の数値と比べて、気付いたことを自由に出し合うことで、標本調査の必要性について気付かせる。**・標本調査の利点や授業の感想を発表させる。 |